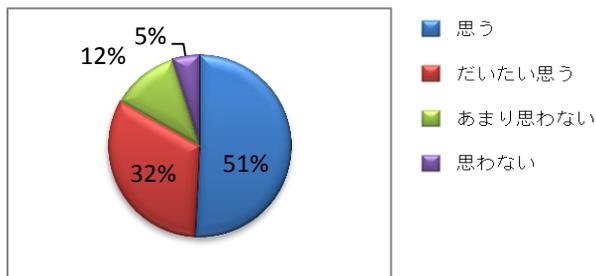


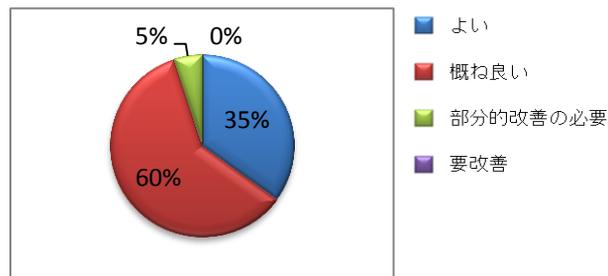
R01 学校自己評価 中間報告(1学期・3～6年生)

1 学校満足度

(1) 学校は楽しいですか。(児童)



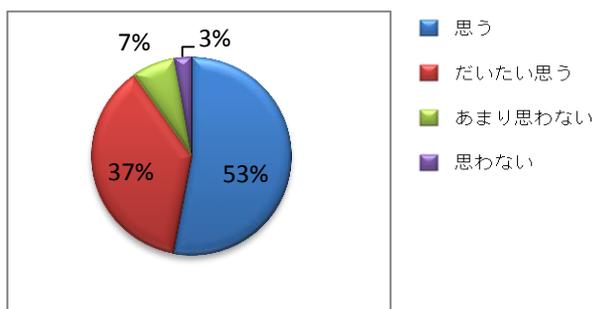
(1) 子どもたちが楽しく学校生活が送れるよう
様々な面で配慮をしていますか。(職員)



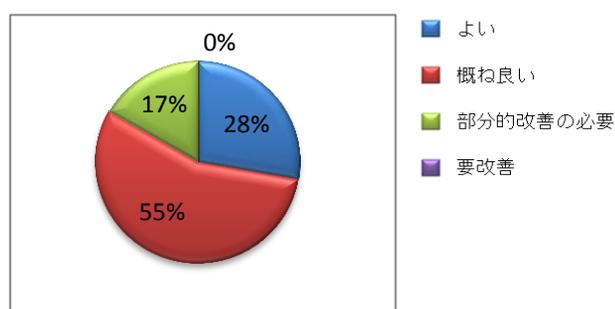
【考察】

過半数の子が、学校を楽しいと思ひ、だいたい楽しいも含めると、80%以上にのぼる。反面、あまり楽しくない、楽しくないという子が20%ほどいる。特に、「楽しくない」という子が、各クラスまんべんなく1～2名ずつおり、この子たちへの理解と配慮・支援が今後の課題か。

(2) 先生は勉強を分かりやすく教えてくれますか。
(児童)



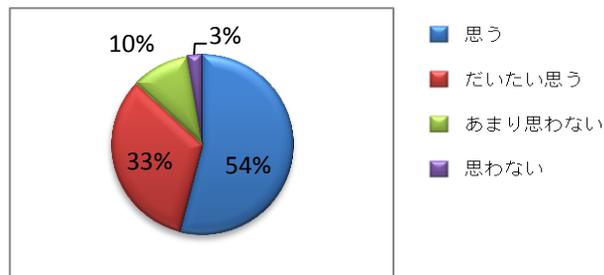
(2) めあてをはっきりと提示し、友だち同士の関わり合いを
工夫し、まとめの時間をとる努力をしていますか。(職員)



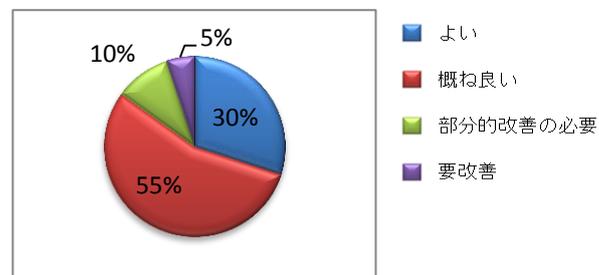
【考察】

教師の意識以上に、子どもたちは「授業がわかりやすい」と感じているようである。「わかりやすい」という感覚を、どこまで「わかる」「できる」「伝えられる」につなげていられるかが、今後の課題であろう。

(3) 先生は、困った時に相談に乗ってくれますか。
(児童)



(3) 日頃から子どもたちに声をかけたり、保護者との連絡をこまめにし
て、子どもや保護者に寄り添いながら相談しやすくしています。(職員)

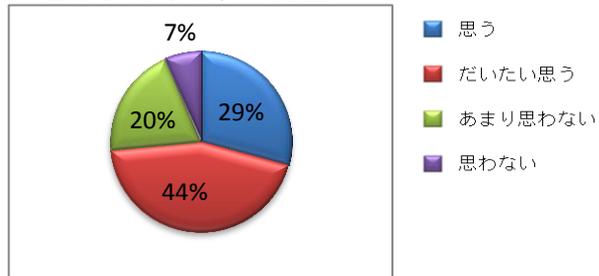


【考察】

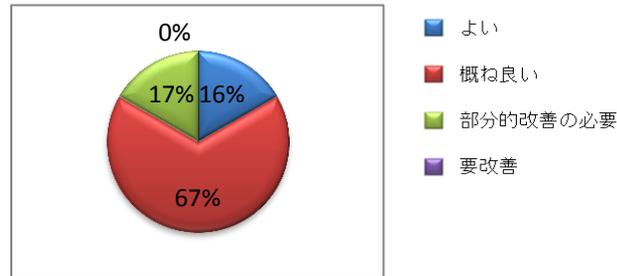
多くの子どもが、「困ったときは先生が相談に乗ってくれる」と、教師への信頼を寄せていることがわかる。そう感じていない13%の子どもたちへの接し方、ケアやフォローを心がけたい。

2 学 習

(1) 学習に進んで取り組み、自分の考えを友だちに伝えていますか。(児童)



(1) 子どもたちが学習に意欲的に取り組み自分の考えを持ち、その考えを伝え合う場を設定していますか。(職員)

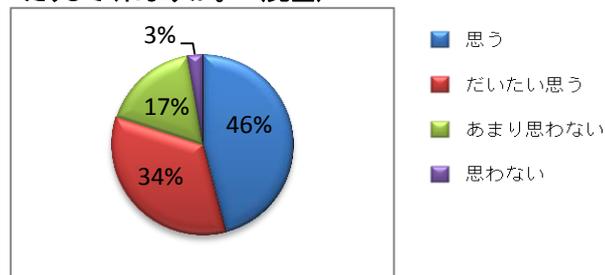


【考察】

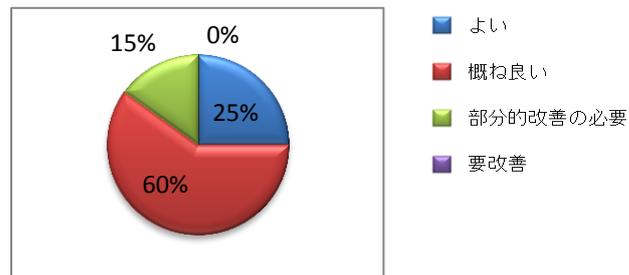
他項目に比べて、子どもたちの「そう思う」という回答がぐっと減る。「授業はわかりやすいが、主体的、協同的に学んでいるという実感が無い」ということか？

3 自尊心

(1) 先生や友達は、頑張っていることを褒めたり励ましたりしてくれますか。(児童)



(1) 子どもの努力を教師自らが認め、励ますと共に、子ども同士がそれぞれの努力を認め、励まし合える環境を作っていますか。(職員)

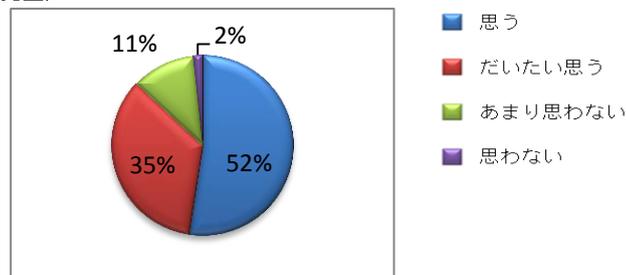


【考察】

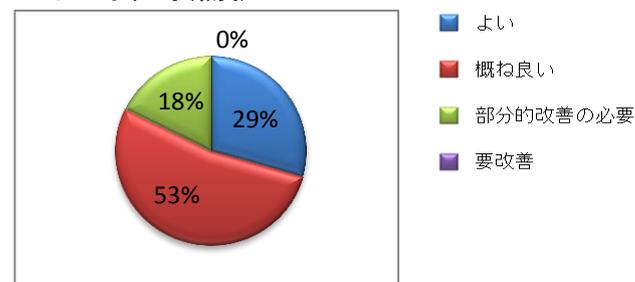
「困ったときに相談に乗ってくれるけれど、ほめたり励ましたりということはやや物足りない」ということか。職員の「改善が必要」という自己評価結果の割合ともほぼ合致しており、塩田西小職員としての今後の重要課題か。

4 心と体

(1) 学習や運動で最後まで諦めずに取り組んでいますか。(児童)



(1) 学習や運動で、最後まであきらめずに取り組めるようにしていますか。(職員)

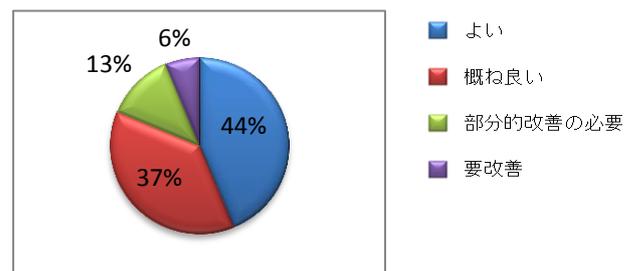


【考察】

職員の感覚以上に、子どもたちは諦めず、粘り強く取り組んでいるという意識があるようである。

5 地域との連携

(1) 地域講師の支援により、ふるさと体験学習を充実させていますか。(職員)



【考察】

職員の実のアンケートである。今後、年間を通してかかわりが増えてくると、地域とのかかわりを私たち自身がより実感し、「よい」が増えていくものと思われる。

6 職員の声

【学校満足度に係って】

- ・QUの結果の低い児童が1名いるので、配慮していきたいです。
- ・校内での挨拶の声が明るく響き合うようになっています。
- ・運動会や地域探検など大きな活動をするたびに成長する姿が見られた。
- ・子どもの視点に立つ努力はしているが、忙しくなってくると雑になってしまうことがある。
- ・めあての提示と友だち同士の関わり合いはよいが、それをまとめ次に生かしていくことを努力したい。
- ・一人ひとりを良さを評価し個々に伝えるようにしている。
- ・努力しているつもりであるが、成果を実感できないこともある。2学期の課題として取り組みたい。
- ・配慮はしているつもりであるが、手が回らないと感じてしまうことがあった。
- ・保護者からの連絡は必ずその日に返事を書くようにしている。必要な場合は電話連絡をしている。
- ・友だち同士の関わりを大切にしたり、保護者との連絡を密にとったりして。
- ・廊下ですれ違う時も子どもに声をかけたり、お迎えの保護者に話しかけている。
- ・教室以外で、子どもたちに会った時、配慮することはたくさんあると思った。

【その他】

- ・もっと子どもの良さを認めていきたいと思います。
- ・授業のUD化、日々の授業改善をさらに進めて行きたい。
- ・子どもたちの言葉を大切に教師は出過ぎず、発言をつなげて行くよう努力した。
- ・さくら国際高校や地域ボランティアの方との交流があり、ふる里学習が充実した。
- ・励ましの言葉は意識してかけるようにしている。
- ・子どもたち同士がそれぞれに認め合い、励まし合える環境を日頃から作って行きたい。
- ・一生懸命やることを大切にしてきた。時間の終わりにできたかどうかを振り返るようにし、良さを認め伝えてきた。